

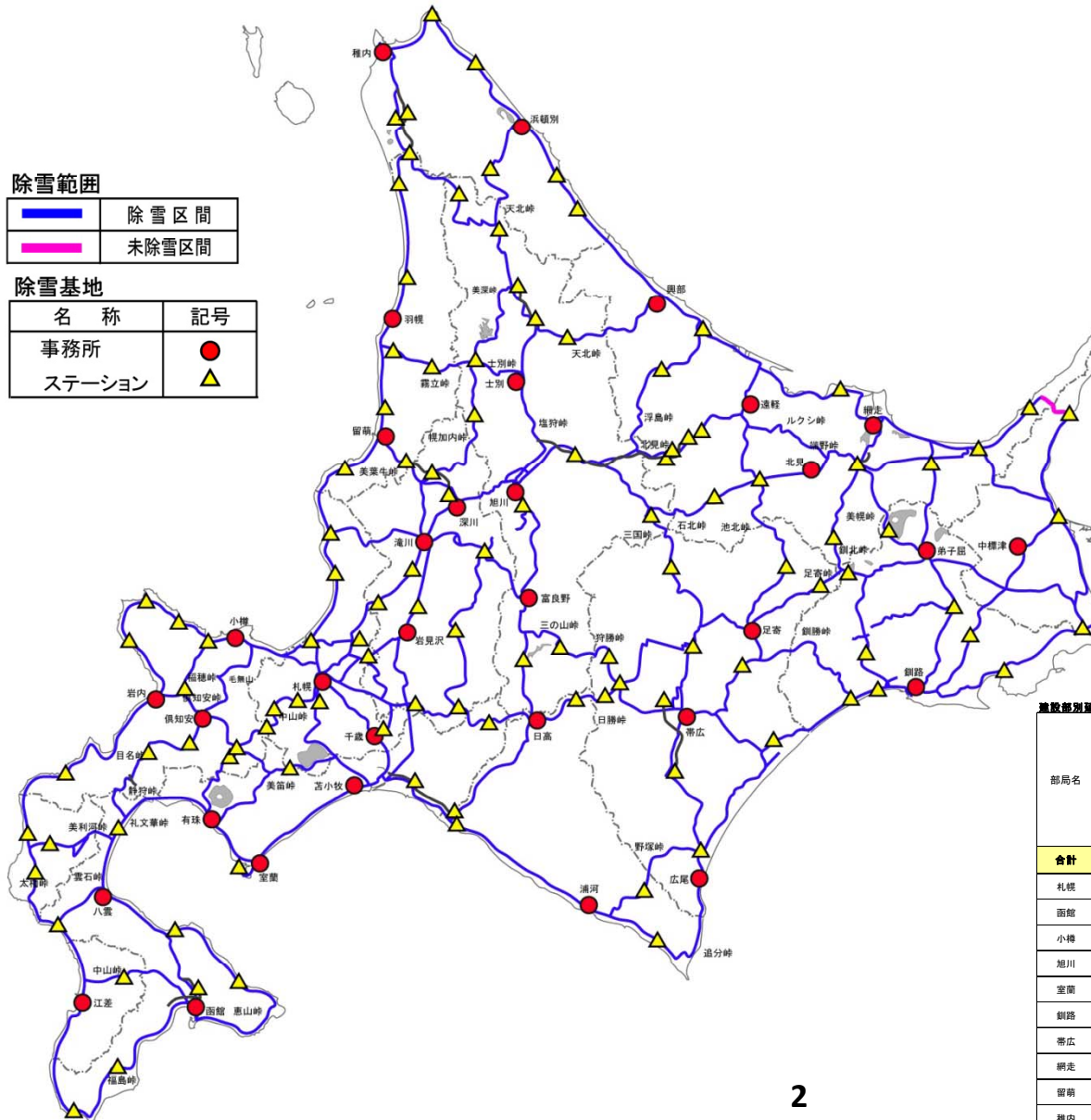
今冬の除雪について

平成23年10月26日

北海道開発局

今冬の除雪体制

◆今冬の国道の除雪は、延長約6,620kmを除雪するため、149基地、1,028台の除雪機械により、これまでと同様、万全な体制により実施します。



除雪範囲

—	除雪区間
—	未除雪区間

除雪基地

名称	記号
事務所	●
ステーション	▲

()書は、ダブル区間で外数

	除雪延長	除雪率
除雪延長(km)	(277.672) 6,343.232	99.6%

冬期通行止め箇所(km)

路線名	未除雪区間	延長	備考
334号	羅臼町字湯の沢 斜里町大字遠音村字岩尾別	23.787	(知床峠)
1路線	1箇所		

建設別延長、基地数、除雪機械配置計画(H23)

部局名	除雪延長(m)	冬期通行止め延長(m)	除雪基地数		除雪機械									
			計	事務所	主力機械								補助機械	
					ステーション	小計	除雪トラック	除雪グレーダ	ロータリー除雪車	除雪ドーザ	小計	小型除雪車	凍結防止剤散布車	
合計	(277,672) 6,343,232	23,787	149	34	115	1,028	827	498	99	144	85	201	120	81
札幌	(59,382) 982,720		25	5	20	239	190	75	58	31	26	49	30	19
函館	(49,833) 646,451		14	3	11	88	68	47	4	9	8	20	13	7
小樽	(3,961) 476,935		13	3	10	101	81	50	5	21	5	20	14	6
旭川	(24,500) 742,731		18	3	15	133	108	66	12	19	11	25	13	12
室蘭	(42,083) 643,411		14	5	9	84	64	44	5	8	7	20	10	10
釧路	(6,750) 821,935	13,389	15	4	11	85	74	50	4	14	6	11	8	3
帯広	(54,208) 881,435		15	3	12	90	71	49	5	10	7	19	9	10
網走	(9,720) 849,304	10,418	16	4	12	111	88	63	4	13	8	23	11	12
留萌	(1,072) 280,487		10	2	8	49	42	28	1	9	4	7	6	1
稚内	(26,155) 257,923		9	2	7	48	41	27	1	10	3	7	6	1

大雪等に関する取り組みについて

関係機関との連携強化（広域）【継続】

■ 関係機関の幹部による「連絡会議」を開催し、今冬の各機関における除雪体制・方針等を確認・共有します。

- 昨冬前半の降雪状況を受け、関係機関の情報共有・連携強化を図るため、緊急的に「連絡会議」を立ち上げ、豪雪時の対応について確認・共有しました。
 - ・情報の相互共有 ⇒ 関係機関の被災状況、防災体制等を共有化
 - ・除雪作業等の連携 ⇒ 大雪時等の関係機関相互連携及び市町村への支援
 - ・道民への呼びかけ ⇒ 立ち往生に備えた留意事項の呼びかけ等



今冬も引き続き「連絡会議」を開催し豪雪に備えます。



第2回連絡会議 (H23.1.20)

- 構成メンバー
 - ・北海道開発局長
 - ・北海道建設部土木局長
 - ・札幌市建設局雪対策室長
 - ・NEXCO東日本北海道支社管理事業部長

関係機関との連携強化（12地域）【継続】

■ 道路災害の被害拡大の防止を目的とした地方道路防災連絡協議会において、豪雪時対応が円滑に進むよう、実務レベルで各地域の課題や情報共有・連携体制等の意見交換を実施します。

○地方道路防災連絡協議会について

平成8年の豊浜トンネル崩落事故等を受けて、道路災害の防止及び災害発生時の被害拡大を防止するため、地域住民・道路利用者等の地域防災関係機関、道路管理者の3者が互いに連携・協力しながらそれぞれの役割を果たす「地域防災パートナーシップ」の構築に取り組むこととして、現在12地域に「道路防災連絡協議会」が設立されております。

名称	開建
後志地方 河川・道路防災連絡協議会	小樽
渡島・檜山地方 道路防災連絡協議会	函館
網走地方 道路防災連絡協議会	網走
十勝地方 道路防災連絡協議会	帯広
日高地方 道路防災連絡協議会	室蘭
釧根地方 道路防災連絡協議会	釧路
留萌地方 道路防災連絡協議会	留萌
上川地方 道路防災連絡協議会	旭川
胆振地方 道路防災連絡協議会	室蘭
空知地方 道路防災連絡協議会	札幌
石狩地方 道路防災連絡協議会	札幌
宗谷地方 道路防災連絡協議会	稚内

○道路防災連絡協議会の事務内容

- ・地域防災協力体制の整備
- ・災害時等の情報伝達の充実
- ・地域の防災意識の高揚
- ・その他、道路防災の必要事項に関すること

○豪雪に関する意見交換内容

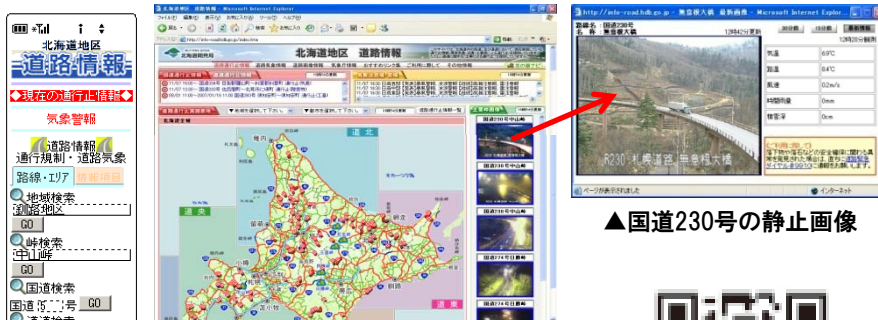
- ・除雪機械貸出支援体制の整備
- ・臨時雪堆積場の設定
- ・情報連絡本部設立についての検討
- ・豪雪時を想定した防災訓練、演習の実施 等

一般利用者への道路情報の提供の充実

インターネットや携帯電話による道路情報提供【継続】

■北海道地区道路情報による道路情報提供

・インターネットで国道・道道の通行止め情報や、峠の画像、気象情報を提供しています。



▲国道230号の静止画像

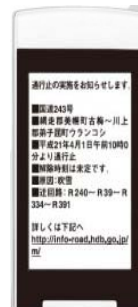
パソコンアドレス
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/index.htm>
 携帯電話アドレス
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/m/>
 またはQRコード



▲QRコード

■通行止め情報の携帯メール配信サービス

・事前登録をした利用者へ通行止め発生時に自動メール配信による情報提供サービスを行っています。



登録はかんたん！携帯電話からサイトにアクセス。

- ① まずはこのサイトにアクセス
<http://kmail.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
 またはQRコード
 登録方法をお読みください。
 - ② 空メールを送信
 - ③ 数分後に「通行止めメールサービスのURLについて」と題したメールが送られてきます。
 - ④ URLにアクセス
 - ⑤ 登録された方のご希望にあわせて、配信情報をカスタマイズ！
 あなたのほしい情報をお選びください。
- よく使う経路は 主要峠は 国道番号は

「道民への呼びかけ（広報）」の実施【継続】

■雪道に関する注意喚起を行います

・関係機関と連携し、ホームページへの掲載や道の駅等においてチラシ、パンフレット等を配布する予定です。



▲冬道ドライブの心構え



▲気をつけて冬道運転



▲なだれに気をつけて

民間等と連携した雪みち情報の提供【継続】

■一斉FAXによる国道連絡所への情報提供

・コンビニエンスストアやガソリンスタンドなどと連携し、冬期の道路気象情報や通行止め情報、運搬排雪情報等を迅速に提供します。



▲掲示しているパネル



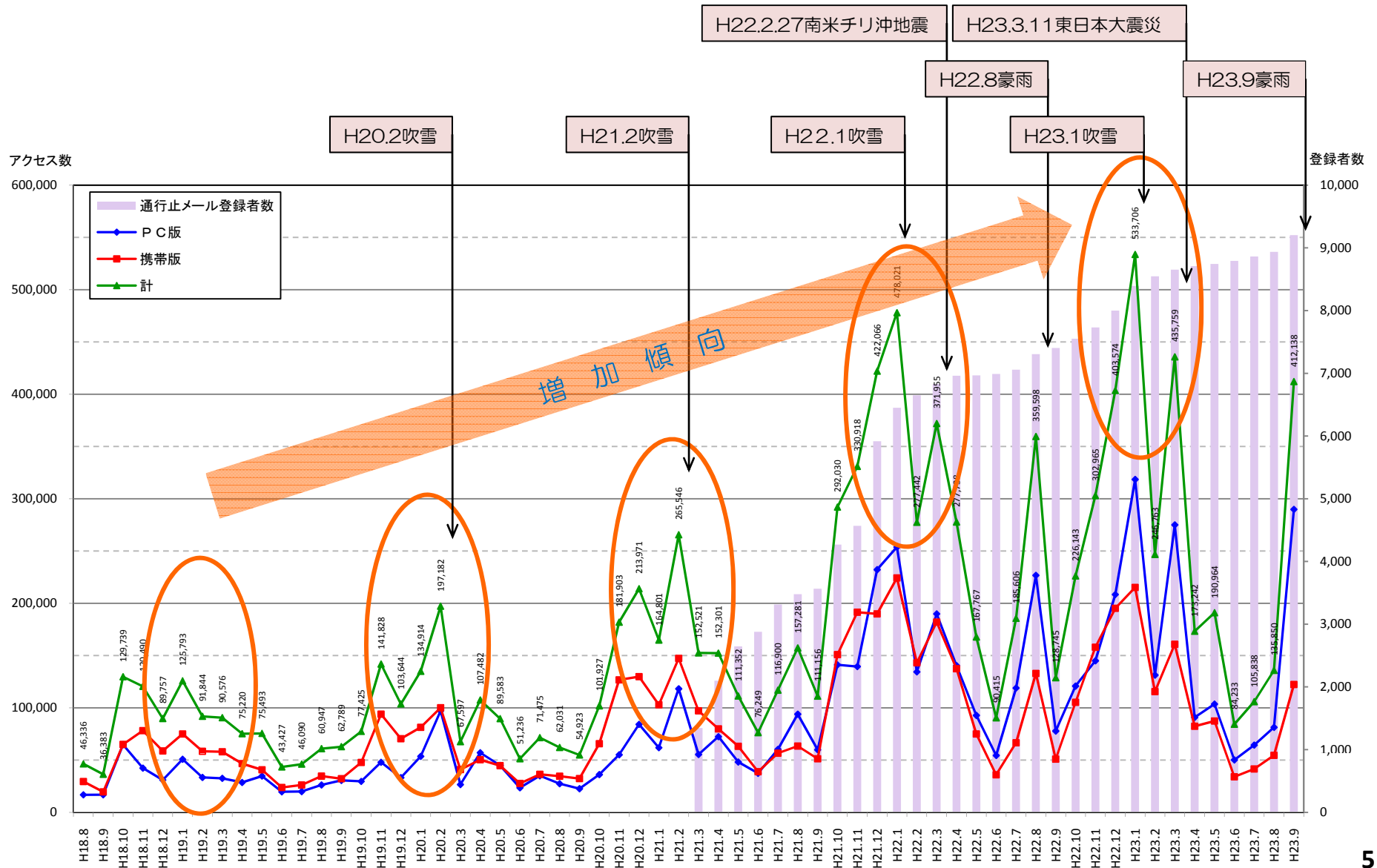
▲ガソリンスタンドと連携した国道情報連絡所

■地域FMとの連携による道路情報の提供

・コミュニティFMとの連携により、雪みち情報提供をします。

「北海道地区 道路情報」「通行止め情報メール」の利用状況

■ 「北海道地区 道路情報」「国道の通行止め情報メール配信サービス」ともに、認知度の向上とともにアクセス数・登録者数が増加しています。



除排雪の取り組みについて(平常時)

- ◆今年度の除雪は、地域の実情を踏まえてきめ細かに実施します。
- ◆コスト縮減の取り組みにあっても、道路利用者のニーズを踏まえた重点区間の作業などメリハリを付けた維持管理を実施します。

新雪除雪

■気象条件や交通状況等地域の実情を踏まえて、適切なタイミングで実施します。

- ▶ 5cm～10cm程度の降雪量を目安として、気象条件、交通状況等を勘案し実施。
- ▶ 吹き溜まりや降雪状況を勘案し、道路交通に支障をきたすおそれがある場合には、5cm未満の降雪でも出動し立ち往生車両の発生を防ぎます。

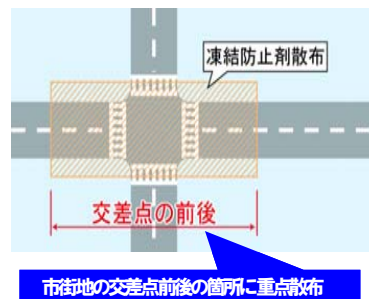
運搬排雪

■気象条件や道路構造によっては通行に支障のない範囲で、部分排雪をする区間を設け、効率的に実施します。

- ▶ 大規模な渋滞の発生により都市機能の著しい低下が見込まれる地域については、最初の排雪作業では、雪山すべてを除去し、大雪に備えて堆雪スペースを確保します。
- ▶ 融雪期や路肩・歩道幅が広い区間については、気象状況を踏まえ、部分排雪することにより、コスト縮減を図ります。

凍結防止剤

■路面状況の変化が著しい初冬期は、きめ細かな凍結路面对策を実施します。



- ▶ 20g/m²程度を目安に対象区間の状況に応じた散布量を適切に設定します。
- ▶ 初冬期においては交通安全に配慮してきめ細かな散布を実施します。

除排雪作業の効率化、地域との連携協働

運搬排雪の時間帯の変更の取組み【新規】

運搬排雪の作業時間帯を地域の实情や交通状況を勘案し、一部の区間において夜間作業から昼間作業への変更を検討します。



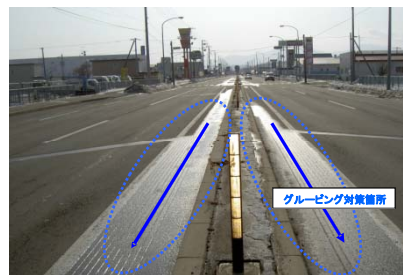
夜間作業



昼間作業

路肩グルーピングによる凍結抑制の取組み【継続】

路肩部の縦グルーピング整備により、雪解け水が路面へ流出し凍結するのを防ぎ、凍結防止剤の散布回数や散布量の抑制を行います。



グルーピング箇所の状況

雪堆積場の確保【継続】

道路脇に積もった雪山の除去は、運搬にかかる費用が大きいいため、近傍の公共空間など空きスペースを活用して、運搬距離を短縮し、コストの縮減に取り組めます。



雪堆積場

地域ボランティアの協力による道路管理の取組み【継続】

冬の安全な歩行空間確保や、景観維持のため、地域住民グループ等の協力を得て、除雪や流雪溝への投雪、歩道の砂まきなどを行っています。

■ つるつる路面対策としての砂まき

道路利用者や地域ボランティアの協力により、つるつる路面への砂まきを行っています。



【地元の高校生によるバス停の砂まき】



【歩行者用砂箱】

■ 流雪溝への投雪

高齢者や空き地等、流雪溝への投雪がされてない箇所で、地域ボランティアの協力により投雪を行っています。

■ 道路景観確保のための除雪

流水を跳めながらのドライブが楽しめるように、ウトロの地域住民ボランティアが中心となり、歩道柵の除雪を行っています。



VSPによる除雪